

2022 年 4 月 28 日

**TOLICへの加入ならびに「第23回TOLICカンファレンス」での
TOLIC物語～アルプス電気盛岡工場スピンアウトベンチャーにDNAを見る～
映像作品鑑賞会実施について**

manordaいわて株式会社は、2022 年 3 月、**ト ー リ ッ ク**〔Tohoku Life science Instruments Cluster〕の法人会員となりました。TOLICは、産学官金連携により生み出した先端的な工学技術をもとに、ライフサイエンス機器の開発・製造を行い、それを活用した新事業にかかわるベンチャー企業を創出し、医療機器や研究関連機器の開発拠点となるヘルステック・デバイスクラスター形成を目指す組織です。

弊社では、これまでTOLICが主催するカンファレンス等にオブザーバーとして参加する中、参加企業との交流や新商品開発などを進めるとともに、昨秋来、関係者とともに岩手におけるベンチャー企業やデバイス産業の歴史を映像化して、内外に発信するプロジェクトを企画し、準備を進めてまいりました。

このたび、5 月 13 日開催の第 23 回TOLICカンファレンスにおいて「TOLIC物語」と題した映像作品の鑑賞会が行われる運びとなりましたので、お知らせいたします。

弊社では、ヘルステック産業や高等教育機関との連携強化を通じて、次世代産業の成長を支援してまいります。

記

■ 第 23 回TOLICカンファレンス

日時：2022 年 5 月 13 日（金）10:30～16:30

場所：アイーナ 7 階 小田島組☆ほ～る

■ 映像内容

TOLIC物語～アルプス電気盛岡工場スピンアウトベンチャーにDNAを見る～
詳細は別添「第 23 回TOLICカンファレンス」チラシをご参照ください。

■ 制作主体

TOLIC

■ 協賛

manordaいわて株式会社

■ 映像制作会社

株式会社フロムいわて

■ 本件に関するお問い合わせ先 担当：幅下（019-624-8100）

以 上

第23回 TOLICカンファレンス

日時：2022年5月13日（金） 10:30~16:30

場所：アイーナ7階 小田島組☆ほ～る

主催：東北ライフサイエンスインストルメンツクラスター（TOLIC）

共催：岩手ネットワークシステム（INS）、(株)イーハトーブ・スクエア

後援：北東北ナノメディカルクラスター研究会

◆テーマ：戻りたい・残りたい故郷にするには？

～アルプス電気盛岡工場、INS、TOLICを通じて考える～

アルプス電気盛岡工場の閉鎖から今年5月10日で20年が経ちます。現在、スピンアウトした社員が起業した会社は40社以上に上り、閉鎖当時の盛岡工場社員約500名以上の雇用が生まれています。また、今年INS設立から30年を迎えました。一時期ほどの活気はなくなりましたが、産学官連携の活動は脈々と続いています。そしてそれらが今TOLICに、地域の新しい時代の息吹が注がれています。榎本憲男氏の小説「エアー2.0」が果たして東北の地に実現するか？考えてみたいと思います。



◆午前の部

10:30～11:30 （株）フロムいわて制作 映像鑑賞会

TOLIC物語

～アルプス電気盛岡工場スピンアウトベンチャーにDNAを見る～

◆午後の部

12:30～16:30

○司会進行

IBC岩手放送アナウンサー 風見 好栄 氏



○特別講演 12:40～13:25

東北大学大学院経済学研究科 教授 福嶋 路 氏

「アルプス電気盛岡工場の閉鎖は地域に何をもたらしたのか？」

地域の主要企業（アンカー企業）の閉鎖が、地域経済に大きな打撃を与える一方で、それを機にスタートアップが現れ集積を形成していったという事例は散見される。岩手でも、2002年に閉鎖されたアルプス電気盛岡工場から40社ものスピンオフが生まれ、そのネットワークを基盤にした新たな医療機器クラスターとその母体組織となるTOLICが生み出された。岩手での事例を他の地域の事例を比較しつつ、このような現象を可能にした地域の条件や、地域に何が残されたのかを考察していく。

○講演 13:30~14:40

「新たな産業集積拠点とは？ ～世界の事例から考える～」

●INS 会長 岩渕 明 氏

「INSは新たな産業集積拠点形成に貢献できるか？」

INSは今年創設30年を迎えます。会員の高齢化により際立った活動を行っているとは言えないと反省しています。しかし、振り返れば、地域にとってはまさにイノベーティブな活動であり、このHIH拠点形成には「INSの精神」が流れています。産学官連携の文化が根付いた証です。さてこれからどうするか。TOLICが医療機器開発の拠点になるなら、基盤を拡げるためにもっと広い範囲・分野で拠点形成に貢献できます。期待してください。

●TOLIC 会長 小山 康文 氏

「世界的なヘルステック・デバイスものづくり拠点の形成を目指して」

経済情勢によって真っ先に切られるのは「進出先の地方」という大手企業の論理を痛感した若手経営者数人で地域の自立を目指して平成26年に設立したTOLIC。強い想いとビジョンを持つキーマンの下、INSにも関係する産学官金の有志が集まり企業会員31社、個人会員31団体まで拡大し、ベンチャー企業も7社創出。「東北から未来へ！世界の知恵を東北に結集し、新たな価値を創造して世界へ発信」し、若者の働きがいのある産業と街づくり目指していきます。

●法政大学 教授 田路 則子 氏

「スウェーデンのアカデミック・スタートアップ～ヘルステックを加速化させる起業家活動～」

総人口1000万人のスウェーデンにおいて、ヨーテボリ市は拡大人口90万人に過ぎないが、ハイテクの起業家活動が活発な北欧都市として知られている。大学や企業の技術シーズの提供、公的投資、業界のベテランによる経営支援がうまく回る。限られた資源を活かして産業振興の原動力を生み出す秘訣を考察する。

●岩手県立大学 准教授 近藤 信一 氏

「雇用は持ってくるべきかor生み出すべきか？」

～岩手に最適なイノベーションの方法と雇用創出を経営学の視点から考える～

イノベーション、それに基づく新産業・新ビジネスの創出、そして雇用の創出には、概ね3つのパターンに集約されるといえます。1つ目のパターンは、「場所」を重視するもの、2つ目のパターンは大学という「空間」を重視するもの、3つ目のパターンは「人」を重視するものです。報告者からは、岩手県においてイノベーションを生み出すには3つのパターンのうちどのパターンが最適なのか考えるヒントを提示したい、と思います。

○トークセッション 15:00~16:30

「サバイブから発展へ」

作家 榎本 憲男 氏 (TOLIC物語作者)

東北大学大学院経済学研究科 教授 福嶋 路 氏

セルスペクト(株) 代表取締役 岩渕 拓也 氏

(株)アイカムス・ラボ 代表取締役 片野 圭二 氏

(株)あゆみ時報 代表取締役 小山 歩 氏

(株)アイカムス・ラボ 開発部 高橋 泰輔 氏

一関工業高等専門学校 5年生 上野 裕太郎 氏



◆参加申し込み

参加費：INS・TOLIC会員：2,000円、一般：3,000円

懇親会：17:30～ じょ居<https://www.hotpepper.jp/strJ000273775/> 参加費5,000円

4/30(土)までに下記へご連絡下さい。

※カンファレンスは定員200名、懇親会は60名になりますので、お早めにお申し込み下さい。

(株)TOLIMS TOLIC事務局 (担当：小笠原)

E-mail：ogasawara@tolic.jp 電話：090-9038-1226